

柏市民活動ニュースレター

2024年9月発行 第34号

今年も暑くて長い柏の夏。柏まつり、手賀沼花火や地域の夏まつりで、熱く盛り上がりました！

- ◇ 猛暑の中で開催された今年の柏まつり。7月27日（土）38万人、28日（日）40万人、合計78万人の人出で熱く盛り上がりました！！
- ◇ もう一つの柏の夏の風物詩・手賀沼花火は8月3日（土）に開催され、約1万3,500発の花火が柏の夜空を彩りました。
- ◇ また、市内各地域の町会・自治会等でも地域に密着した夏まつりが開催され、暑い夏を満喫していました。 皆さん、本当にお疲れ様でした。



<目次>

| | |
|---------------------------------------|-------|
| 巻頭 | ・・・ 1 |
| 第1回協働まちづくりサロン「自分らしいボランティア・地域活動のみつけかた」 | ・・・ 2 |
| 第1回市民活動講座「活動を活性化する組織運営のコツ」 | ・・・ 3 |
| 第2回協働まちづくりサロン「柏市の協働によるまちづくりのこれから」 | ・・・ 4 |
| 協働まちづくり提案制度のススメ | ・・・ 5 |
| たまご補助金団体の活動紹介 | ・・・ 6 |
| 愛らぶ基金団体の活動紹介 | ・・・ 7 |
| サポートコーナーからのお知らせ | ・・・ 8 |

第1回協働まちづくりサロン (6/22) 自分らしいボランティア・地域活動のを見つけかた

今年度の第1回目のサロンは、10～20代の若者3名がさまざまなきっかけから始めた地域活動の実践事例を通して、夏休みに向けて「自分らしい」地域活動の在り方を探る回としました。

当日は学生のほか、学生を活動に受け入れたいと考えている市民活動団体含め5名が参加し、時間いっぱいまで活発な意見交換が行われました。



■松村くん (写真左) …高校生。小学生時代から地域のコミュニティスペースのボランティアスタッフをしている。今はコミュニティビジネスやボランティアなど、地域に関わるさまざまな活動に広く参加している。

■山上くん (写真右から2人目) …大学生。柏市経営戦略課が昨年実施した「ワカモノワークショップ」を経て、総合計画の審議会委員としても活動。大学でカフェ活動もしている。

■るなびよん (写真右) …社会人。グルメ×SNSの活動の他、イベント等MCや柏の地域活動、文化活動等、自分の好きなことを掛け合わせた活動を行っている。

◆当日の内容から、2つの質問を抜粋してご紹介します◆

■「自分が大事にしていること」

- ・今回のテーマでもある「自分らしい活動」。3人それぞれの大事にしている「自分らしさ」をどうとらえているか、という質問には以下のようなことが上がりました。
- 「対話とコミュニティ。対話を大事にしたい。また、色々なコミュニティに行ってみると、一人くらいは面白い人に会える」
- 「楽しいか楽しくないか、やってみたいか、やらなくてもよいか。活動に参加するには道具やお金がかかることもあるし、色々な人も関わる。周囲の人が付いていく活動って、動いている人達が楽しそうにしているか、も見られていると思う。」
- 「自分のキャラクター性と人とのつながり。一緒にやろう、と声をかけてくれる大人がいるので柏ってすごい。毎月、人のところに足を運ぶこと。」



■「自分の活動を誰かに広めたいですか？」

- ・この質問に対しては、3人とも「知ってもらいたい」という意見で一致しました。
 - 「学生である自分の活動が、なかなか地域活動に一步踏み出せないと感じている人にも影響を及ぼせれば、と思っている。SNSで活動報告をマメに上げるようにしています」
 - 「自分のモチベーションや活動を見た人の今後にも繋がると思う。もっとPRしたい」
 - 「自分の活動をたまたま見た人が、それに勇気づけられて何か挑戦するキッカケになったりしたら素敵だなあとと思っている」
- ・一方で「周りに同じように地域活動をしている学生も増えてきたが、柏市全体で繋がっているか、と言われるとまだまだだと思う。なかなか同世代で交われない。」という声も。ゲストの3人も、今回のサロンが初対面！という関係性もあり、終了後にはさっそく連絡先交換をしている姿もみられました。
- ・一度に大きな輪をつくることは難しいですが、若者たちも同世代で集まれる場・活動を支援してくれる大人たちと出会える場を小さくとも柏の中で重ねて作っていくことで、「自分らしい」活動をしている若者と大人の協働の場にも繋がっていくのではないかと感じました。

7月6日（土）午後1時30分からパレット柏で、一般社団法人 Mi-Project 理事長、NPO 法人まつど NPO 協議会理事である松村大地氏を講師に迎え、活動を活性化する組織運営をテーマに講座を開催しました。

市民活動団体はそもそも多様な組織形態を持ち、自由な発想で活動を展開していることに強みがありますが、その一方で、長年にわたる活動で、マンネリ化による活動の停滞などの課題も少なからずあります。そういった課題を克服し活動を活性化するため、



松村氏自身が実践的に取り組んでいる多様でフレキシブルな組織運営の事例を通して、実践されている活動などを例に具体的に考えることができたと思います。

講座は、講義の間にワークを入れた内容で、ただ聞くだけではなく、参加者が自分たちの活動を振り返りながら受講する内容でした。

松村氏は、一般社団法人 Mi-Project で実施している「ケアリングコミュニティ・プロジェクト」を通して、特に地域に根差した市民活動に必要なコミュニティマネジメントの基本原則を、

- (1) サービスではなくコミュニティ
- (2) 舞台と役割・出番をコーディネートする
- (3) 人はコストをかけた分だけ愛着がわく
- (4) お金以外の報酬に着目する
- (5) 自動的に運営される仕組みをつくる

としています。言うは易く行うは難しな内容ですが、それぞれについて実践事例を踏まえた説明を聞くと、自分たちでもできそうな気になります。

要はやる気と行動力、自分たちの事業を少し俯瞰して客観的に評価し、一部の限られたメンバーだけでしようとするのではなく、事業ごとに関連する周囲の人たちに興味をもってもらい、主体的に参加してもらうこと、そしてそれが愛着につながるような仕掛けづくりをしていくことは、ちょっと視点を変えれば、意外とどんな市民活動団体でもできるのではないかと思います。

参加者のアンケートは、「具他の事例があってよかった」「今悩んでいる事の解決策が見えた。他団体の取り組みが聴けてよかった」「興味→愛着→主体の流れがつかめた」「団体のあり方、継続させる為の気付きがあった」といった回答が多く、今後の団体の活動が発展することを期待できる内容でした。

第2回協働まちづくりサロン（8/24） 柏市の協働によるまちづくりのこれから

■本サロンの概要

本サロンでは、行政との協働事業に取り組んでいる市民活動団体4団体が活動報告を行い、「協働まちづくり提案制度」の活用など、柏市の協働まちづくりのこれからについて、参加者と意見交換をしました。

日時：2024年8月24日（土）13：30～16：00
場所：パレット柏 ミーティングルーム F・G
テーマ：柏市の協働まちづくりのこれから
内容：① 市民活動団体の活動報告
② 協働事業に対する柏市の期待と課題
③ 意見交換
参加者：団体活動発表者4人、柏市担当課5人
市民等13人、合計22人



■活動発表団体

① 柏市地域協働を考える会

【協働事業提案制度】<担当課：地域支援課（現・市民活動支援課）>
地域組織と行政や団体との協働を促進するための中間支援（H26）

② かしわ子育てまちづくりネットワーク・ここっと

【協働事業提案制度】<担当課：子育て支援課>
かしわ de 子育て～切れ目のない支援のためのネットワークづくり（H26）

【協働まちづくり提案制度】<担当課：生涯学習課>

子ども・子育て支援総合施設 TeToTe における中高生の居場所づくり

③ 柏観光プロダクション

【協働事業提案制度】<担当課：農政課⇒指定管理者に継承>
あけぼの山農業公園及び周辺地域を巡るフットパスツアー（H29）

【協働まちづくり提案制度】<担当課：住環境再生課>

景観まちづくりPR事業（かしわマイ・フットパス推進事業）（R3）

④ NPO 法人ジセダイ歴史文化継承研究所

【協働まちづくり提案制度】<担当課：文化課>

エリア単位での歴史ガイド養成講座（R6）



■主な意見（アンケート含む）

- ①協働の意義や様々な団体の活動を知ることができたが、私個人は何から始めたらいいのか？
- ②市職員への周知が必要。職員からの提案が欲しい。
- ③自治会と市民活動団体・NPOとの連携が必要。
- ④特定の人々の集まりにならないで、よりオープンな取り組みにし、まちづくり関係人口を増やして欲しい。



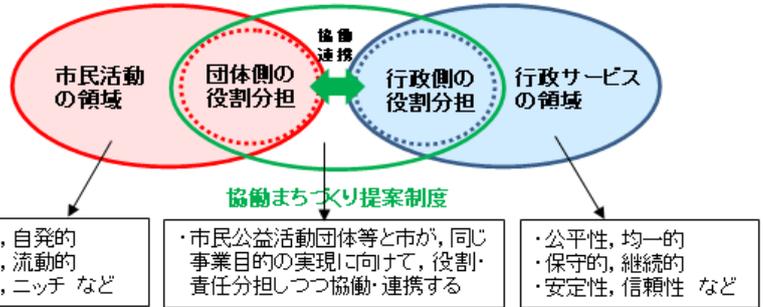
■まとめ

- ・「協働」の意義をより広く知ってもらうとともに、協働まちづくり提案制度の活用・普及に向けて、市民活動団体にも市役所各課にもPR・周知を図る必要がある。
- ・「市民活動団体×行政」だけでなく、「市民活動団体同士」「町会・自治会×市民活動団体」など多様な協働まちづくりへの展開を図る必要がある。

協働まちづくり提案制度のススメ

■協働まちづくり提案制度とは・・・

- ・第2回協働まちづくりサロン（前頁）で取り上げた「協働まちづくり提案制度」は、平成17年度に創設された「協働事業提案制度」を継承して令和2年度に創設された制度であり、**市民公益活動団体と市の事業担当課が、同じ事業目的の実現に向けて、それぞれの**



特長を活かして、役割と責任を分担しつつ、協働してまちづくりに取り組む制度です。

- ・平成17年度から令和6年度までの20年間の成案化件数は21件であり、年平均1件程度にとどまっていますが、今後は、市民活動団体にも市の事業担当課にも「協働」の意義をより広く知ってもらい、「協働まちづくり提案制度」を積極的に活用してもらいたいと考えています。

⇒行政との協働、市民活動団体同士の協働など、多様な協働事業を考えている方は、市民活動サポートコーナーにご相談ください。

協働まちづくり提案制度の詳細



■令和6年度 協働まちづくり提案制度の活用事例

- ・令和6年度には、市民公益活動団体 NPO 法人ジセダイ歴史文化継承研究所と柏市教育委員会文化課が、協働まちづくり提案制度を活用した協働事業に取り組んでいます。
- ・協働事業に取り組むことになった要因は、当該団体の活動目標である「エリア単位で人材を育成し、ジセダイに地域の歴史を伝えること」と、令和5年度に策定した柏市文化財保存活用地域計画を受けた文化課の「文化財保存活用には市民活動団体との連携が不可欠である」との両者の想いが一致した点にあり、理想的な協働事業であると言えます。



講師による座学講座



実地研修



受講生の発表会

- 【事業名】 エリア単位でのガイド養成講座
 【市民公益活動団体】 NPO 法人ジセダイ歴史文化継承研究所
 【担当課】 柏市教育委員会文化課
 【事業内容】 エリア単位でのガイド養成講座（2地域×各5回）
 第1回：柏市概要に関する講師の座学&ワークショップ
 第2回：高柳の概要に関する講師の座学&ワークショップ
 第3回：3チームに分かれて実地研修
 第4回：学校での事例と地域での事例&ワークショップ
 第5回：3チームのオリジナルコースの発表
 ※令和6年度には「高柳地域」と「戸張地域」の2地域で実施
 次年度以降も年2地域程度実施予定

※講座を見学した感想（サポートコーナー及川）

- ・高柳地域の第5回講座（発表会）を見学させていただきましたが、4回の講座以外の時間にも文献調査、現地調査等を熱心に行っている受講生も多く見られたのが印象的でした。
- ・かつてのかしわ市民大学の卒業生がそうであったのと同様に、本講座の卒業生も「学び」を「行動」に移し、新たな市民活動の担い手として活躍することを期待します。

たまご補助金

柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）団体の活動紹介（虹色未来大学、Chloris Music）

柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）を活用して、令和6年度には、設立間もない5つの市民公益活動団体が活動をしています。ニュースレターでは、順次、たまご補助金団体の活動状況をお伝えしますので、新しい仲間たちの活動に注目してください。

■団体名

虹色未来大学



■団体紹介

「人生後半の生き方をデザインしなおし、生涯現役の元氣“幸”齢者を増やす」をミッションに、主にシニア世代を対象とした活動を展開してきました。今年度は「社会課題解決のための次世代リーダー育成事業」とし、地元学生のボランティア参加の促進・地域での多世代交流の場づくりに取り組んでいます。

■活動訪問記（サポーター 大石）

8月23日に豊四季台近隣センターにて行われた「中学生先生のスマホ講座(第2回目)」にお伺いしました。柏第三中学校の生徒19名が参加し、来場したシニアにスマホの簡単な操作方法などをマンツーマンで教えていました。



お互いのことを会話で知りながら、スマホをその人らしく日々の生活に役に立てるように教えられることが中学生講師の強みではないかと感じました。

また、参加した中学生の感想の中では「シニアと話が噛み合うか不安だった



が、話すうちにその不安が解消された」という声も上がりました。シニアの参加者も豊富な人生経験を中学生に伝えたり、丁寧な姿勢で中学生と接していた姿が印象的

で、世代を超えた相互の会話の時間を大事にした場の設計が成功の秘訣かと感じました。柏で育ち、地域に居る中学生世代との多世代交流モデル。今後も広がりが楽しみです！

■団体名

Chloris Music (クロリスミュージック)



■団体紹介

生の演奏によるクラシック音楽鑑賞を通じ、たくさん子どもたちの心を育む機会の提供などを目的に活動する団体です。

昨年に引き続きたまご補助金を活用し、コンサートの実施や、認知度をあげる活動にも取り組んでいます。

■活動紹介（サポーター 三好）

8月20日（火）に、市内松葉町の保育施設で行われたコンサートにお邪魔しました。

床に座っていた子どもたちは、バイオリンとフルートの音が鳴り出すとすぐに、ぐっと音楽に引き込まれていくのわかりました。

「きらきら星」や「山の音楽家」など馴染みのある楽曲と、スカーフを使った動きのある遊びなど、参加型のプログラムも取り入れられ、1時間余り、子どもたちは全く飽きることもなく、いきいきと楽しんでいました。



生の良質な楽器演奏を全身で楽しむ体験は、子どもたちにとって貴重で、いつまでも心に残るものになるだろうと感じました。

引き続き活動の周知活動に努力することで、たくさん子どもたちに届けるチャンスが広がると思います。子どもや家族に寄り添いながら良質な音楽を届け、子どもの心を育む活動を継続していかれることを願っています。



柏・愛らぶ基金団体の活動紹介

柏市民公益活動促進基金（柏・愛らぶ基金）は、市民の皆様からの寄附金を活用して市民公益活動を支援する制度であり、現在、保健福祉や環境など様々な分野で活動している 27 団体が基金団体として登録しています。ニュースレターでは、順次愛らぶ基金団体を紹介しますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



(基金の詳細)

NPO 法人日本アセアン交流推進機構 アジアンビジョン

日本社会において、あらゆる分野での人材不足が懸念される「人口減少社会の課題解決の取組」の一つとしてアセアンとの国際交流を進め、地域の多様な主体の結び付きを構築し、共に課題を解決して行く共助社会（地域）を目指し、地域が一体となった事業実施に向け活動しています。

【活動の内容】

- ・学生間 ICT 国際交流
- ・技能実習生・高度外国人材受入れ
- ・国際間ボランティア活動



(団体の詳細)

NPO 法人せっけんの街

持続可能な社会を実現するために、市民生活のなかで地球環境保全の意識を高めかつ実践活動を促して、環境汚染をくい止めるために環境負荷の少ない暮らし方とリサイクルせっけんの必要性を市民に伝え浄化の高揚を図る活動に寄与することを目的に活動しています。

【活動の内容】

- ・廃食油回収・再利用の事業
- ・廃食油リサイクル製品の普及事業
- ・環境学習・せっけんワークショップの企画運営
- ・雨水タンクの普及活動

◎基金はリサイクルせっけん普及・啓発を目的とした交流事業に活用しています。



(団体の詳細)

「柏市民活動フェスタ in 柏の葉」が 11 月 3 日（日）に開催されます！

柏市制 70 周年を記念して、11 月 3 日に TX 柏の葉キャンパス駅周辺で「柏市民活動フェスタ in 柏の葉」を開催します。皆様のご来場をお待ちしています。

■日時：2024 年 11 月 3 日（日） 11:00～16:00

■会場：柏の葉キャンパス駅西口周辺

■参加団体：市民公益活動団体及び柏の葉地域で活動している市民活動団体

■主催：柏市民活動サポートコーナー／共催：柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）

※同時開催：柏の葉マルシェコロール



11月23日（土・祝）フリーマーケットぽかぽか市 開催

柏市民活動の秋の祭典「柏市民活動フリーマーケットぽかぽか市」が、11月23日（土・祝）に、24団体が参加して柏駅前通りハウディモール歩行者天国で開催されます。

開催時間は10時30分から15時まで。

ご家族やお友達をお誘いの上、是非ご来場ください。



市民活動講座・協働まちづくりサロンのご案内（10月～12月）

《市民活動講座》

第2回 助成金獲得のための基本 9月28日（土）18:30～20:30

第3回 団体運営をICTでレベルアップ 11月17日（日）15:30～18:30

《協働まちづくりサロン》

第3回 第六次総合計画のパブリックコメントを書こう 9月11日（水）18:30～20:30

まち *match* づくりステーションのご案内（10月～12月）

| | |
|----------------------|---------------|
| 9月 1日（日）～15日（日） | 柏市俳句連盟 |
| 9月 16日（月）～30日（月） | パレット柏 夏休み講座展示 |
| 10月 1日（火）～15日（火） | たまご補助金・愛らぶ基金 |
| 10月 16日（水）～11月 9日（土） | パレット柏 介護フェス |
| 11月 10日（日）～30日（土） | ぽかぽか市 |
| 12月 1日（日）～15日（日） | 地球温暖化防止月間 |

～編集後記～

- ・暑く長い夏が終わり、いよいよ市民活動団体が待ちかねていた「イベントの秋」がやってきました。今年は柏市制70周年を記念して、11月3日には「柏市民活動フェスタ in 柏の葉」も開催されます。皆さんの参加とご来場をお待ちしています。
- ・ところで、我らが柏レイソルに目を向けると、シーズン後半を迎え、いつの間にか厳しい順位争いを強いられています。来シーズンも「J1 レイソル」が見られるように、最後までみんなで応援しましょう。（※市民活動サポートコーナーで、柏レイソルのシーズン後半のポスターを配布しています。但し在庫限り）（編集：及川愛二）

柏市民活動ニュースレター 第34号 2024年9月発行

発行者 柏市市民活動支援課 市民活動サポートコーナー

電話 04-7163-1143 FAX 04-7163-1147

メール shiminkatsudo-c@city.kashiwa.chiba.jp

